

# 東経トピックス

福岡発

銀行出身、中小企業専門の経営コンサルタント～アジア太平洋マネジメント～専門は『銀行との信頼関係』

長引く景気後退局面において、資金調達に支障をきたしている中小企業は多い。銀行交渉・提出書類の作成に時間を割かれ、本業である収益部門に手が回らない、といった悩みを抱える経営者は、少なくないのではないだろうか。

銀行と企業との『潤滑油』を目指した、コンサルタントの誕生である。

経営コンサルティング・オフィス『アジア太平洋マネジメント』は、その経営理念を『共栄』と掲げ、今年3月に開業した。同年2月末まで金融機関に勤務していた代表者の青木 道生氏は、銀行時代の法人融資専担の経験が豊富である。

起業家の独立時や新たな収益源を模索する際の新事業部の設立時、『新規開業資金』という名の制度融資は用意されている。一方で、起業家が主張する『絶対に儲かるビジネスプラン』と、銀行員が要求する『返済及び事業継続の確実性』は、必ずしも整合的ではなく、論点が噛み合わない。双方の葛藤が理解できる立場だからこそ、私の役割は存在する—青木氏は、このように語る。

新規事業に係る融資や、既に融資取引のある企業においても、『情報の非対称

性』という問題が、貸手と借手との間には介在している。貸手(銀行)は、借手(企業)ほどにその会社・事業に対する情報量を持つことはできず、貸出金の回収確実性を高めるために、逐次『モニタリング』を行う必要がある。融資申込時以外でも、資金繰り表や銀行取引明細、その他の資料の提出を求められるのは、銀行が行う、この『モニタリング』行為に基づくものである。

銀行は、融資先に対して『格付値』を付与している。格付値の算出には一定のルールがあり、慣れてくると、当該企業の決算書を斜め読みしただけで、概ねその企業に与えられている『格付値』の当たり付けが可能となる。格付値に応じて、当該企業に対して今後の融資スタンスが概ね決められ、また、銀行決算に与える『貸倒引当金』にも影響してくる。

青木氏は、「『魔法のように融資を引き出す』やり方・交渉術など、絶対にない」と断言する。銀行との永年の取引関係の中で、いかに『情報の非対称性』を最小化し、銀行から付与される『格付値』を向上させるか、がポイントだと、強く主張する。

融資には『与信費用』というコストが存在し、貸出金の利息収入イコール銀行の収益、ではない。当該企業の格付値に応じて、PD(Probability of Default)と呼ばれる『デフォルト率・倒産確率』



が算出される。与信量や担保で保全(カバー)されていない部分を算出し、EL (Expected Loss)と呼ばれる、銀行にとっての『期待損失値』が算出される。

金融庁は政策的に『リレーションシップ・バンキング』を推進してきた。顧客の情報量を蓄積し、銀行がコンサルティング機能を発揮することを求めたものだ。この政策の真髄は、銀行主導で貸出先企業の『PD』(倒産確率)を減少させるため、格付値の向上を図ることを目的としたものである。格付値が向上すれば与信費用が減少し、追加融資の大義名分に繋がる。格付値の向上のためには、貸手と借手の間の情報量・質の平準化・共有は、必須である。

一このように、代表の青木氏は、銀行と企業の『潤滑油・調整役』を目指している。経営理念の『共栄』とは、この考え方に由来するものである。

創業から2カ月足らず、クライアント企業は福岡県外にまで広がっている。新規創業案件や資金繰り・追加融資案件、また、東南アジアに対するFDI(海外直接投資案件)など、数多くの案件を手がけている。補助金や助成金では社会保険労務士事務所、税務面では税理士・会計事務所、また、大手コンサルティング会社

とも業務提携を行い、多様化するクライアントのニーズに、全力で応えている。

アジア太平洋マネジメントでは、財務診断・ビジネスマッチングは原則、無料で行っている。ウェブサイトでは、金融庁や中小企業庁、その他すべての官公庁の『報道発表資料』を原則、その日のうちに掲載している。『共栄』の理念に基づき、広く公に、情報提供を行っている。翌日の新聞発表よりも早く情報を入手できるため、企業経営者は必読である。

『情報の非対称性』の最小化を目指し、格付値の向上による『共栄』のシステムを構築する一銀行出身者だからこそ実現可能な、プロの経営コンサルティングを、是非受けてみられてはいかがだろうか。『銀行との付き合い方』にも注力した経営管理は、今後より一層、必要性を増してくるのではないかと。(玉田)

【代表者プロフィール】

- H09.03: アメリカ・ロサンゼルス留学
- H11.07: カナダ・ブリティッシュコロンビア州留学
- H17.03: 立命館アジア太平洋大学 アジア太平洋マネジメント学部卒業
- H17.04: 金融機関入社
- H22.02: 金融機関退社
- H22.03: アジア太平洋マネジメント開業



青木 道生代表

【企業概要】

アジア太平洋マネジメント

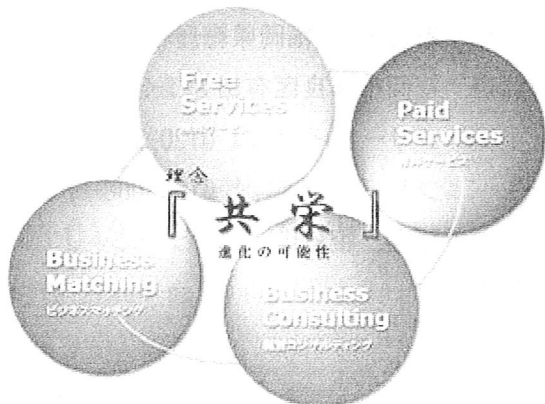
所在地: 北九州市八幡西区永犬丸2-13-43

TEL/FAX 093-691-6005

(連絡): 原則、ウェブサイトのお問い合わせフォームより

<http://www.APHD.jp>

対象地域: 九州全域



ビジネス支援情報誌

# 東経情報

<http://www.tokyo-keizai.co.jp/>

**経営は心**

## 素敵な人

親を選んで生まれることはできない 生まれもって備わった顔はどうしようもない 目も覚めるような美しい人もいれば そうでない人もいる 確かに不公平であるが条件は一緒の出たところ勝負なのだ ならば生き方が大事 自分を素敵に見せる生き方をしなければ損だ 方法はある まず①弁解をしない ②弱音を吐かない ③愚痴を言わない ④いつも笑顔 これを守ることである 今まであなたは「親のせいだ」との言葉を何度口にしましたか 口にした数だけ不幸が舞い込んだはず 持って生まれた顔を受け入れて明るく元気に日々努力する これまでの人生を変えることはできないが これからの人生は如何様にも変えられる あなたは本当に不幸かどうか胸に手を置いて考えるといい 今勤めている会社があり仕事がある 目も見えるし 耳も聞こえる 声を出して話ができる 五体満足ではないか これからは日々素敵な笑顔で愚痴を言わず弱音を吐かず 弁解をしない人になる そんな人が素敵な人なのである

PICK UP記事

**東経トピックス** (株)博多屋～「モンドセレクション」で3年連続金賞受賞 4

**倒産状況** 九州・沖縄地区企業倒産状況 ..... 8～9

**スクープナビ** (株)コマーシャル・アールイー(千葉県)債権者判明① 19～23

## 東京経済株式会社

発行所:本社 管理本部  
〒802-0004 北九州市小倉北区鍛冶町2丁目5番11号(第1東経ビル)  
TEL/093-521-5887 [購読料]年80,000円



無添加 純石けん  
**シャボン王**<sup>®</sup>  
TEL.093-791-4800